

令和4年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価  
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

## 海津市地域公共交通会議 (海津市)

平成25年12月5日設置

令和2年3月 第2次海津市地域公共交通網形成計画策定  
(計画期間：令和2年4月～令和9年3月)

令和3年6月22日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

令和4年3月10日 令和3年度評価結果送付

# 1.【Plan】協議会等が目指す地域公共交通の姿

## 地域概況

- ・市内の公共交通は、養老鉄道、名阪近鉄バス、市コミュニティバス、タクシーで構成。
- ・令和4年10月に定時定路線バスの路線再構築を実施

■人口：32,758人（令和4年4月現在）

■鉄道：養老鉄道養老線

■地域間幹線系統：名阪近鉄バス海津線

■フィーダー系統：海津市デマンド交通

## 第2次海津市地域公共交通網形成計画（令和2～8年度）

基本方針「みんなでつくる、便利な公共交通網」

目標① 持続可能性を考慮した公共交通網の構築

目標② 関係者の協働による公共交通網の構築

目標③ 住民が主体的に参画するための仕組みの構築

## 主要な施策

- ・定時定路線バスの再構築
- ・デマンド交通の見直し
- ・隣接市町への乗り入れ
- ・名古屋圏アクセスバス実証運行

## 公共交通ネットワークイメージ



## 主な取り組み内容

取組名称	取組の概要	実施結果	考察
定時定路線バスの再構築	バスと養老鉄道の接続強化（お千代保稲荷線・石津線）、休日に観光向けシステムを新設（木曾三川公園線）、輪之内町内区間に停留所を増設（お千代保稲荷線）	利用者数 <b>176人/日</b> (R4.10～11) R4年度165人/日	養老鉄道との接続強化により、 <b>観光や通学の利便性が向上</b> したことによる効果で、再編前に比べ利用者数が増加している。
にしみのライナーリレーバス実証運行	平田支所・お千代保稲荷～高速バス安八バス停を結ぶ連絡バスを運行（8.5往復/日）	利用者数 <b>946人</b> +ツアー利用50人 (R4.7～11)	通勤利用がみられ、リレーバスを利用した観光ツアーも設定されるなど、 <b>市民の通勤利便性向上や観光振興に寄与</b> している。 引き続き利用状況を検証する。
デマンド交通の運行区域の拡大	輪之内町・三重県桑名市内にデマンド交通の停留所を設置	新設停留所の乗降者数 <b>35人</b> (R4.10～11)	市外に新設した停留所への一定の利用がみられ、近隣市町への <b>買い物や通院の利便性が向上</b> している。
1日フリーパスの導入	定時定路線バス(コミバス)全線を利用できる乗車券を販売開始	販売実績 <b>209枚</b> (R4.10～11)	気軽に市内の複数の観光地を周遊できるようになり、 <b>観光振興や利用促進につながっている</b> と考えられる。
プレミアム付き回数券の販売	通常回数券11枚綴りにプレミアム回数券4枚綴りを付けて通常価格で販売	販売実績 <b>1,315冊</b> (R4.8～)	コロナ禍により減少している公共交通利用者の回復が図られていると考えられる。

第2次海津市地域公共交通網形成計画の目標達成状況

計画目標	評価指標	実績値			目標値	考察	
		R2	R3	R4	R4		
鉄道の利便性、効率性及び満足度向上	利用者数 (人/年)	コミバス計	77,754	74,281	75,181	97,100	定時定路線バスに比べ利用者の減少幅が大きくなっている。高頻度利用者の利用は大きく変化していないため、低頻度利用者の利用の回復や新規需要の掘り起こしを行う必要がある。 高校生の減少やコロナ禍による観光利用の減少により、全体的に利用者が減少しているが、路線再構築により通学・観光の利便性が向上したことをPRし、今後の利用回復に努める。 コロナ禍の影響で目標を下回っているが、コミバスとの接続が改善されたことをPRする等、利用促進を図る。
		デマンド交通 (フィーダー系統 補助路線)	17,574	16,439	14,927	20,300	
		定時定路線バス	60,180	57,842	60,254	76,800	
		海津羽島線 (石津駅-羽島駅)	36,704	36,370	39,562	44,100	
		南幹線 (石津駅-駒野駅)	19,401	16,925	16,185	28,500	
		お千代保稻荷線 (羽島駅・大須-駒野駅)	4,075	4,547	4,507	4,200	
		養老鉄道 (市内駅乗降者数)	369,183	368,270	387,759	394,000 (R7)	
住民が主体的に公共交通に関わるための取組みの実施	運転免許証 自主返納支援者数 (人/年)	84	84	71	80 (R7)	支援者数はやや減少したものの、一定の返納者がみられており、継続的に支援事業を実施していく。	

確保維持改善計画の目標値

## 4. 【Act】 計画目標の達成に向けた今後の取組方針

計画目標の現在の到達点	今後の取組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍の影響で全体の利用者が減少しているが、<b>デマンド交通の減少が特に大きい</b>。</li> <li>・ 市民からデマンド交通に対する様々な意見が寄せられ、利便性向上が求められている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 停留所までの距離が遠い</li> <li>&gt; 土曜日も運行してほしい等</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>デマンド交通のサービス向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通で移動される方の負担を軽減させるため、デマンド交通の停留所設置基準を見直し、<b>停留所を増設</b>予定。</li> <li>・ 土曜日の通院等の需要に対応するため、デマンド交通の<b>土曜日運行の実験を実施</b>予定。</li> </ul> </li> <li>→公共交通を必要とするより多くの方に利用いただけるようにするため、デマンド交通のサービスを向上を図り、利用者の回復や新規需要の掘り起こしを行う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>海津市～名古屋方面間</b>の公共交通による<b>アクセス向上</b>を求める意見が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>にしみのライナーリレーバス実証運行</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>高速バス（にしみのライナー）に接続するリレーバス</b>をR4.7より実証運行。利用状況を注視しながら継続予定。</li> </ul> </li> <li>■ <b>名古屋圏アクセスバス実証運行</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>市内～愛知県内の鉄道駅を結ぶ連絡バス</b>を実証運行予定。 <ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 令和4年度：市民アンケート、運行ルート・ダイヤ検討</li> <li>&gt; 令和5年度：実証運行開始予定</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>→名古屋方面へ通勤通学や買い物等で移動する市民、海津市へ観光で訪れる市外からの観光客の利便性向上を図る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生の減少やコロナ禍による観光利用の減少により、<b>利用者の減少</b>が続いている。</li> <li>・ 定時定路線バスの路線再構築(R4.10)により、<b>利便性向上</b>を図ったが、<b>周知が十分できていない部分がある</b>。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>定時定路線バスのPR</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定時定路線バスの再構築や1日フリーパスの導入により、<b>通学や観光の利便性が向上した</b>。</li> </ul> </li> <li>→路線再構築により通学・観光の利便性が向上したことをPRするため、中学校での進路説明や観光客に対して積極的な周知を行い、利用促進に努めていく。</li> </ul>

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	<p>①次年度に予定している市内バス路線の再構築に向けて、周辺自治体とも連携してより利便性の高い交通体系が実現することを期待します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 輪之内町と連携して令和4年10月の再編で「大薮東」のバス停を新設した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス路線再編に伴い、市民から意見をいただいているので、次期改定時に意見を反映し、より利便性の高い交通体系の実現を図る。</li> </ul>
	<p>②現在の交通体系との変更点について市の広報誌への掲載やHP、住民への説明会などを活用した周知をしっかりと行うとともに、再編後の利用状況を注視し、継続的に見直しが行われることを期待します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 路線再編に伴い市報8月号に公共交通に関する記事を掲載、9月号の折り込みで利用ガイドを全戸配布した。</li> <li>・ 市報11月号に出前講座について掲載し周知した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再編後の利用状況について注視していく。</li> <li>・ 市民からの意見を反映し、令和5年10月に見直しを実施予定。</li> </ul>

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回	①地域住民からの強い要望がある桑名市、愛西市と連携した移動手段の確保について、今後、協議が加速することを期待します。また、自治体を跨ぐコミュニティバスについては、更なる利便向上を図るため、関係者との協議、連携の継続をお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年10月、三重県桑名市にデマンド交通停留所を2カ所設置。</li> <li>令和4年10月、輪之内町に「大藪東」のバス停を設置。</li> <li>名古屋圏アクセスバスの運行について市民アンケートを実施。運行計画を策定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋圏アクセスバスの実証実験運行を令和5年10月に実施する予定。</li> <li>更なる利便向上を図るため関係者との協議、連携に向けて協議、連携の継続を図っていく。</li> </ul>
	②海津明誠高校の通学利用に配慮したダイヤへの見直しや中学生への周知を行うなどの対応が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年10月、海津明誠高校を経由する便を増便した。</li> <li>中学生への周知は未対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の意見を踏まえ、継続的に見直しを実施する。</li> <li>中学校の進路説明会等でのPRに努める。</li> </ul>
	③お千代保稲荷や海津温泉・南濃温泉などの観光地アクセスのPRを強化することを期待します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>お千代保稲荷を経由する路線を「お千代保稲荷線」とした。</li> <li>海津温泉・南濃温泉・木曾三川公園などの観光地を結ぶ観光路線を土日に運行。</li> <li>観光を目的とした1日フリーパスを導入した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>にしみのライナーリレーバスも含め、関係者と連携をしながら、観光地アクセスのPRを強化し、更なる利便性向上を図る。</li> </ul>

※前回：令和4年3月10日、前々回：令和3年3月1日

## PDCAの推進体制



## 今後の主なスケジュール

年度	主な事業
令和4年度	定時定路線バス路線再構築
令和5年度	計画の中間見直し 計画改定（地域公共交通計画） デマンド交通の停留所の増設 デマンド交通の土曜日運行 名古屋圏アクセスバスの実証実験運行
令和6年度	↓
令和7年度	↓
令和8年度	次期計画の作成

## 直近の会議の開催状況

開催日	会議名称	主な議題
令和4年1月20日	第27回地域公共交通会議	自己評価、定時定路線再構築
4月18日	第28回地域公共交通会議(書面)	令和3年度決算・令和4年度予算
6月22日	第29回地域公共交通会議	生活交通確保維持改善計画 定時定路線再構築・運賃設定・プレミアム付き回数券
6月27日	第30回地域公共交通会議(書面)	1日フリーパス
10月 5日	地域公共交通会議 専門部会	名古屋圏アクセスバス・デマンド交通
10月24日	第31回地域公共交通会議	名古屋圏アクセスバスアンケート・デマンド交通
令和5年1月20日	第32回地域公共交通会議	自己評価・名古屋圏アクセスバス